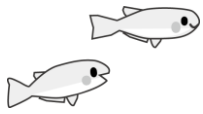
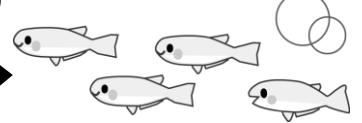


ペット館ニュース8月号



アクアニュース



8月になり暑さも一段と暑くなってきました。今年は暑さが続くという予報が出ています、気を付けて頑張ってください。さて、ペット館でもちょっとした動きがありアクアコーナーの谷口さんが小動物コーナーに移動になりました。今後ともよろしく願いいたします。しばらくの間アクアコーナーは3人で対応することになりますのでご迷惑をおかけすることも多いかと思いますがよろしく願いいたします。

鳩 宿 「らんちゅう青仔」も落ち着き今後は当歳、明け2才などの型の良い物が入荷してきます。早速7月末に入荷したららんちゅうはらんちゅう協会の副会長作の良品が入荷済みです。他にもらんちゅう協会の当歳物も入荷しています。そして今回は土佐錦保存会から貴重な「土佐錦2才」が久しぶりの入荷となりました。土佐錦に目がないお方はこのチャンス見逃さないでくださいね！ほかに鹿児島指宿産「シヨートテールオランダシシガシラ2才」も好評入荷中です。このクオリティでこの安さ！良い物は早くになくなってしまいます。お早めにご覧になってください。また、水温も上がる季節ですので水替え作業を怠らないようにしてください。60cm水槽では1週間に1度水量半分水替えがお勧めです。

坂 上 今月は「ピラニア」をご紹介します。ピラニアとは現地のインディオの言葉で歯のある魚という意味だそうです。私らの世代はピラニアを題材にした人食い系の映画が流行っていたこともあり、見た目の怖さと相まってピラニアといえば人食い魚とイメージする人も多いかもしれません。でも本来は意外にも臆病な性格の持ち主で、物音などがするとすぐに隠れてしまいます。ただ、血の匂いなどには敏感で、一度群れでの攻撃が始まると狂ったように襲いかかり、鋭い歯で肉を削り取るような食べ方をするので、注意が必要です。ただいま、店内には代表種の「ピラニア・ナッター」はもちろん、大型種の「ピラヤ」やその他も取り揃えておりますので一度ご覧くださいませ！

河 野 夏にもなり観賞魚の飼育に興味を持たれているお客様も多いのではないのでしょうか？今回はその中でも特に質問の多い小型水槽での「カクレクマノミ」の飼育についてご紹介します。難しいイメージが先行する海水魚飼育ですが、準備を怠らなければ何も難しいことはありません。結論から言いますと10ℓ程度の小型水槽でも「カクレクマノミ」は十分飼育可能です。まず準備する水槽ですが、小型の中でもスペースが許す限り大きいものをオススメします。ろ過機は投げ込み式のものですと塩水が飛び散ってしまいますので、外掛け式の物を準備します。ろ過機も出来るだけ大きいものを選んでください。床材はサンゴ砂を準備しましょう。粒の大きさがいろいろありますが、お魚がメインの水槽を作っていく場合は細目という番手が万能です。人口海水の元はお好みの物で大丈夫です。海水の濃度を測る比重計も必需品になりますので必ず準備しましょう。次にカルキ抜きも必要です。水槽を早く立ち上げるためにバクテリア剤を添加するのも非常に効果的です。最後は小型水槽の要になるライブロックを準備してください。10ℓあたり1kg程入れるのが目安になります。以上の物をすべてセッティングして2週間もすれば「カクレクマノミ」をお迎えできる水槽の完成です！飼育数は1~2匹に抑えておいた方が安定した飼育が可能です。まずは身近な道具で海水魚の世界を体験されてみてはいかがでしょうか？さらなる深みに挑戦されたいお客様は経験豊富なスタッフがアドバイスさせていただきますのでお気軽にご質問ください。